

顧客事例

レガシーLinuxプラットフォーム向けに
ライフサイクルセキュリティを確保

ネットワーク機器プロバイダーは、WindRiverLinuxServicesを活用し、Yocto ProjectベースのLinuxプラットフォームに潜むCVEに対応することで、技術的負債とコストを削減

イノベーションの創出に集中できる環境づくり

ネットワーク機器メーカーは総じて「デプロイ済の機器に搭載されているレガシーソフトウェアのサポートやメンテナンスに追われるのではなく、画期的なイノベーションの創出に時間をかけたい」という課題を抱えています。しかし残念なことに、リソースの問題から、技術的負債の蓄積、セキュリティリスクの増大、ソフトウェアプラットフォームの安定性低下という結果を招くケースがあまりにも多く見られます。

長年ウインドリバー製品をご利用いただいているお客様の事例をご紹介します。このお客様は、ネットワークのクラウド対応と自動化における先進的企業として世界的に有名なネットワーク機器ソリューションプロバイダです。同社は、イノベーションに注力するあまり、Yocto ProjectベースのLinuxプラットフォームの定期的なメンテナンスが後回しになっていました。開発チームは開発の終盤になって初めて、最終顧客と交わしたサービスレベル契約で「OS上の重大なセキュリティリスクをすべて洗い出して修正するまで、新たなソフトウェアをデプロイできない」ことに気づきました。

この問題を解決したのが、Linuxプラットフォームのライフサイクル全体でのセキュリティサービスを提供する**Wind River Studio Linux Services**でした。ウインドリバーのセキュリティ専門チームが、精選されたデータソースを利用した**CVEスキャンサービス**を使ってお客様環境のレガシーLinuxプラットフォームをスキャンし、1,500件を超えるCVEを特定しました。そのうち、Critical分類に該当する脆弱性は80件を超えていました。

ウインドリバーは特定されたCVEによる実際の影響度を分析し、お客様側のエンジニアと協力して、真っ先に対応すべき脆弱性の優先順位付けを行いました。また、このお客様にセキュリティマネージメントサービスを継続的に提供。OSプラットフォームとBSPに高品質な修正を常時適用できるよう、夜間ビルドによるハードウェアの品質チェックやテストも実施しています。さらに、修正内容や進捗状況をトラッキング可能なオンラインダッシュボードやレポートと、リリース毎にCVEや不具合を記録したリリースノートとアーティファクトも提供しました。

ハイライト

世界的なネットワーク機器ソリューションプロバイダーは、Wind River Studio Linux Servicesを活用して、Yocto ProjectベースのレガシーLinuxプラットフォーム上に存在する共通脆弱性識別子(CVE)の特定・優先順位付け・修復を行い、セキュリティ検証と更新を継続的に実施することでモバイルサービス事業者やデバイスメーカーをはじめとするエンドカスタマーと交わしたSLAを遵守することができました。

お客様の課題

- ・ イノベーション優先の事業方針により、技術的負債が増大していた
- ・ CVEの特定や修正作業に貴重なエンジニアリソースを継続的に割り当てることができなかった
- ・ レガシーLinuxプラットフォームのライフサイクルにわたる戦略がなかったため、結果としてエンドカスタマーとのSLA遵守に支障をきたしていた

サービスご利用後

お客様はWind River Studio Linux Servicesを導入した結果、製品の基盤であるLinuxプラットフォームが新サービス展開の妨げとなる不安から解放されました。信頼性の高いセキュリティパッチの迅速な適用およびウインドリバーのエキスパートによる継続的かつ包括的なテストの実施により、自社の強みである「モドルウェア、アプリケーション、デバイスにおける新たなイノベーションの創出」に専念できるだけでなく、顧客に感動を与え、収益につながる新サービスを迅速に市場展開できるようになりました。

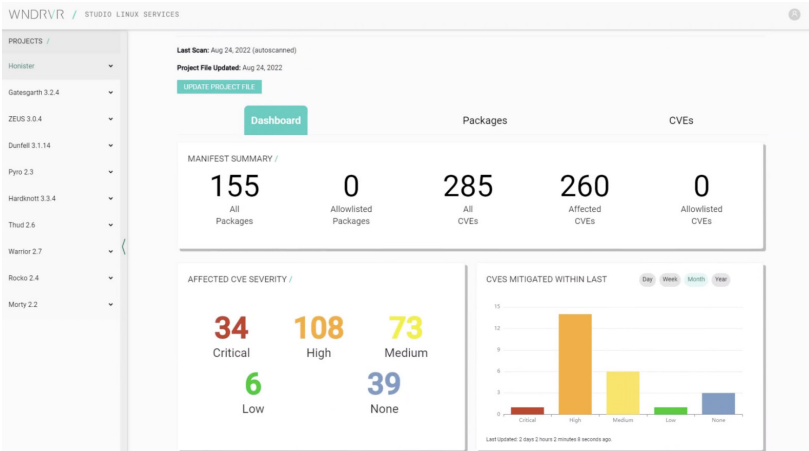


図1: 操作しやすいダッシュボード画面で重要度の高いセキュリティ脆弱性を素早く特定できる Wind River Linux Services のセキュリティスキャン

また、お客様はWind River Studio Linux Servicesの導入に伴い、時間とコストを大幅に削減しています。Linux Foundationによると、Linux上のCVEの修正依頼を受けてから修正が完了するまでの期間は平均100日になります。ウインドリバーのサービスを使用することで、CVEの発見と修正は、自社で行うよりもはるかに迅速で、費用対効果も高いものでした。さらにウインドリバーの修正内容は、すでに複数のプラットフォームで検証されているため、より迅速なデプロイが可能となり、SLA未達やペナルティの回避に役立ちます。

Wind River Studio Linux Services を、リソース問題の解決およびCVE対策に追われることなくイノベーションに専念し続けるためのスピーディかつスマートな手段としてご活用ください。

ウインドリバーのセキュリティスキャンサービスの詳細は、こちらをご覧ください。

www.windriver.com/japan/services/linux

活用したWind River Studio Linux Servicesソリューション

- ・ ライフサイクルセキュリティサービス
- ・ ウインドリバーのCVEスキャンツールによるCVEの特定・優先順位付け・緩和
- ・ お客様がお使いのハードウェア上でのLinux品質チェックおよびテスト
- ・ 修正パッチのリリースや進捗状況をトラッキング可能なオフラインダッシュボードとレポート

導入効果

- ・ CVEの特定・修正作業を社内リソースと手法に基づいて実施する場合と比べてコストを削減できた
- ・ エンドカスタマーと交わしたSLA遵守に自信がもてるようになった
- ・ 技術的負債の蓄積を解消できた
- ・ ソフトウェアのメンテナンスではなく、イノベーションの創出や迅速な市場展開に集中できる環境ができた

WINDRIVER

ウインドリバー株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー

www.windriver.com/japan

ウインドリバーは、ミッションクリティカルなインテリジェントシステム向けのソフトウェアを提供する世界的なリーダーです。40年以上にわたり、イノベーターかつパイオニアとして、最高レベルのセキュリティ、安全性、信頼性を数十億台を超えるデバイスやシステムに提供しています。ウインドリバーのソフトウェアと専門性の高い包括的なポートフォリオは、あらゆる業界のデジタルトランスフォーメーションを加速させています。